

成岩中学校区ふくし井戸端会議（第4回） ダイジェスト

発行元：半田市 平成30年3月

ふくし井戸端会議とは地域の困りごとを地域のみなさんで共有する場です。
発見した地域の課題について話し合い、解決に向けた具体的な取り組みを考え
ています！！

日時：平成30年3月14日（水）
13時30分～15時

場所：半田同胞園
（栄町2-22）

参加者：27名

内容：これまでの振り返り
事例から地域でできることを
考える！



これまでの振り返り

今年度成岩中学校区で開催しているふくし井戸端
会議では、地域で子どもを見守るため、各関係機関等
がそれぞれの役割やできることを話し合いながら地
域同士のつながりを深めてきました。
⇒関係機関だけでなく、子どもたちと地域がつながる
きっかけをつくることが出来ました。



- 成男(10歳)：本人は無意識であるが、学校で暴れるなどよく注意を受ける。
祖母(岩子)がご飯と作るのを忘れるとパニックになってしまう。
- さとみ(14歳)：母(成美)は毎日非常に疲れていて、進路等の相談ができない。
- 成美(38歳)：母子生活支援施設からアパートへ転居。昼夜のダブルワーク。
- 岩子(75歳)：母子家庭の娘(成美)の手助けをしたいが、最近忘れっぽい。

事例から地域でできることを考える！

今回は、上記のような仮想事例を基に、地域で困っている子ども
たちの支援方法についてみなさんと考えました。

○今回の仮想事例は、実際に、同胞園や地域等でよく見かけるケースだと思う
⇒身近に潜んでいる地域課題を地域が連携して発見・対応する必要がある。

○登校時間・装いから、心配な子どもたちを発見することが多い！

⇒民生児童委員、学校、ママ友のつながりから行政等関係機関へつなげる必要がある。

○地域で認めてくれる居場所、話せる人がいると安心できると思う！

⇒地域のサロン・生活支援の団体の連携、サポート体制を強化できるとよい。

○子どもたちの親世代に対する支援も必要ではないだろうか！

⇒子どもたちの支援がしきれない何らかの課題を他にも抱えている可能性があると思
う



など

今回は、地域で困っている子どもたちの支援を中心にみなさんと意見を出し合いました
が、課題を解決するには最終的に世帯全体・地域全体の丸ごと支援が重要となることを改
めて感じました。成岩地域は幸いなことに、ふくし井戸端会議をはじめ様々な立場の方が
「色々な気づき」や「解決の糸口」等を気軽に話し合える場があり、安心して生活できる
地域づくりが進みつつあります。今後も地域のみなさんが、地域のつながりを確認しなが
ら、可能な支援を行っていく中で、暮らしやすいまちを目指していきます！！



お問い合わせ

 半田市社会福祉協議会
TEL 0569-23-7361
半田市地域福祉課
TEL 0569-84-0641

